

岩手県企業短期経済観測調査結果（2019年3月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の68社
- 回答率100%（回答数68社、うち製造業26社、非製造業42社）
- 回答期間 2月25日～3月29日

1. 業況判断指数 (DI)

業況判断指数（全産業）は、前回調査（12月）に比べ、「良い」超幅が縮小した（前回14 → 今回2）。

業種別にみると、製造業は、中国経済の減速等から電気機械や生産用機械の業況判断が悪化したほか、食料品や窯業・土石製品でも復興需要の減少等から判断を引き下げた先がみられたことなどから、「悪い」超に転化（前回19 → 今回▲4、「悪い」超は2016年6月調査<▲7>以来）。非製造業も、復興需要の減少等から業況判断を引き下げた先がみられたため、「良い」超幅が縮小した（前回12 → 今回4）。

先行きについては、製造業では、コスト増懸念から業況判断を引き下げる先がみられる一方、国内需要の回復期待から判断を引き上げる先も見られており、全体では概ね横這いとなっている（今回▲4 → 先行き予測▲3）。一方、非製造業は、復興需要の減少懸念等から「悪い」超に転じており（今回4 → 先行き予測▲4）、全産業でも「悪い」超に転化（今回2 → 先行き予測▲5）。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、「製商品・サービス需給判断DI」の「供給超過」超幅が拡大し、「仕入価格判断DI」と「販売価格判断DI」の「上昇」超幅が縮小した。また、「生産・営業用設備判断DI」および「雇人員判断DI」についても「不足」超幅が縮小した。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	17/12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月	6月 (予測)
製造業	4	15	4	11	19	▲4(11)	▲3
素材業種	0	22	12	0	12	0(12)	13
加工業種	6	11	0	17	22	▲6(11)	▲11
非製造業	5	3	3	14	12	4(▲7)	▲4
建設	0	7	20	34	40	27(14)	0
全産業	4	8	3	13	14	2(0)	▲5

2. 売上高・経常利益（2018年度実績見込み、2019年度計画）

2018年度の売上高・経常利益は、製造業では、中国経済の減速等を背景に減収・減益の見込み。また、非製造業は、民間建設需要の好調等から建設や卸売を中心に増収となるものの、経常利益は、人件費や燃料費の上昇等から減益の見込み。

2019年度は、製造業では、新製品投入効果等により売上高は前年を幾分上回るものの、人件費の上昇等に伴い、引き続き減益を予想。非製造業は、復興需要の減少から減収・減益を予想する先がみられる一方で、販売促進の強化等により増収・増益を見込む先もみられており、全体としては減収・増益の計画。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2018年度(実績見込)		2019年度(計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲1.2 (▲1.3)	▲18.0 (▲13.4)	0.4	1.3	▲0.5	▲15.0	▲17.8	▲13.5
非製造業	2.8 (0.0)	▲8.0 (▲21.0)	▲6.4	▲5.9	▲6.9	9.0	▲23.4	31.3
全産業	1.1 (▲0.6)	▲12.8 (▲8.4)	▲3.6	▲2.8	▲4.3	▲1.9	▲21.0	10.3

3. 設備投資額（2018年度実績見込み、2019年度計画）

2018年度の設備投資（土地を含み、ソフトウェア・研究開発投資を含まない）は、製造業では、計画の後ズレから電気機械を中心に下方修正され、ほぼ前年並みの見込み。また、非製造業では、卸・小売や対個人サービスでの投資一服から前年を2割方下回る計画となっており、全産業では前年を1割方下回る見込み。

2019年度については、製造業は、新製品対応投資を増加させる先が見られることから、前年を幾分上回る計画。非製造業は、前年並みの計画となっている。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	設備投資*		ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地)	
	2018年度 (実績見込)	2019年度 (計画)	2018年度 (実績見込)	2019年度 (計画)
製造業	1.2 (▲12.8)	6.3	2.2 (▲12.9)	1.4
非製造業	▲22.2 (▲0.8)	0.0	▲22.5 (▲3.3)	3.3
全産業	▲10.5 (▲8.0)	3.5	▲10.1 (▲9.0)	2.2

*土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		17/12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月	6月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」－「供給超過」	▲17	▲17	▲15	▲13	▲10	▲13(▲18)	▲17
製商品在庫	「過大」－「不足」	6	4	5	4	4	4(—)	—
仕入価格	「上昇」－「下落」	33	29	28	29	33	27(38)	32
販売価格		3	2	0	6	10	3(▲5)	▲4

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」－「不足」)

	17/12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月	6月 (予測)
製 造 業	0	▲11	▲11	▲15	▲15	0(▲11)	4
非 製 造 業	▲3	▲5	▲8	▲8	▲5	▲2(▲8)	3
全 産 業	▲2	▲7	▲9	▲11	▲9	▲2(▲9)	3

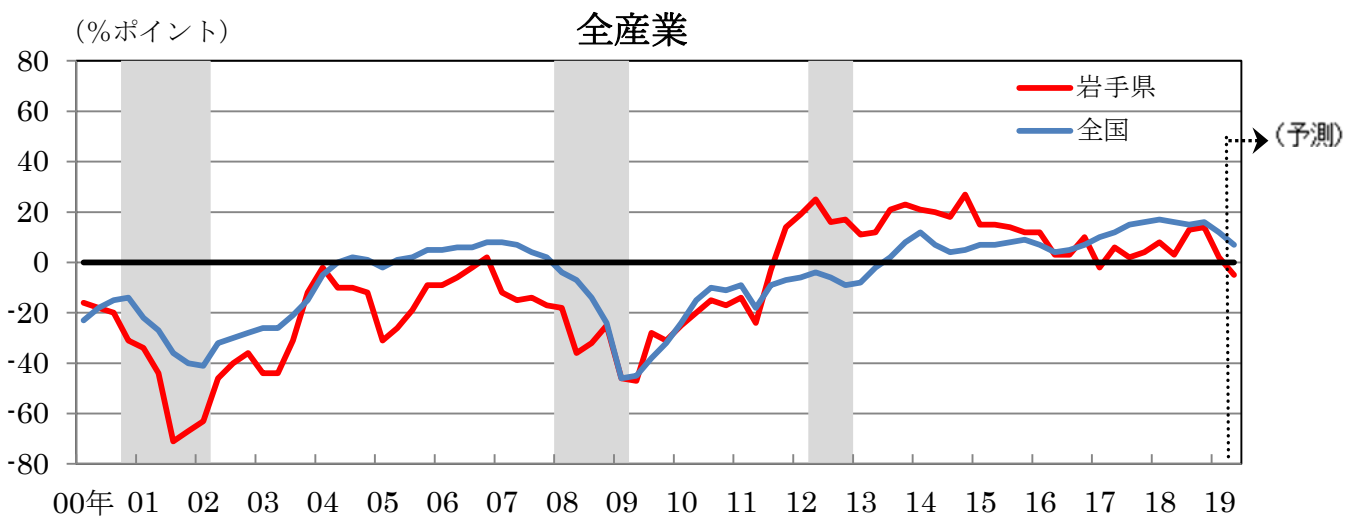
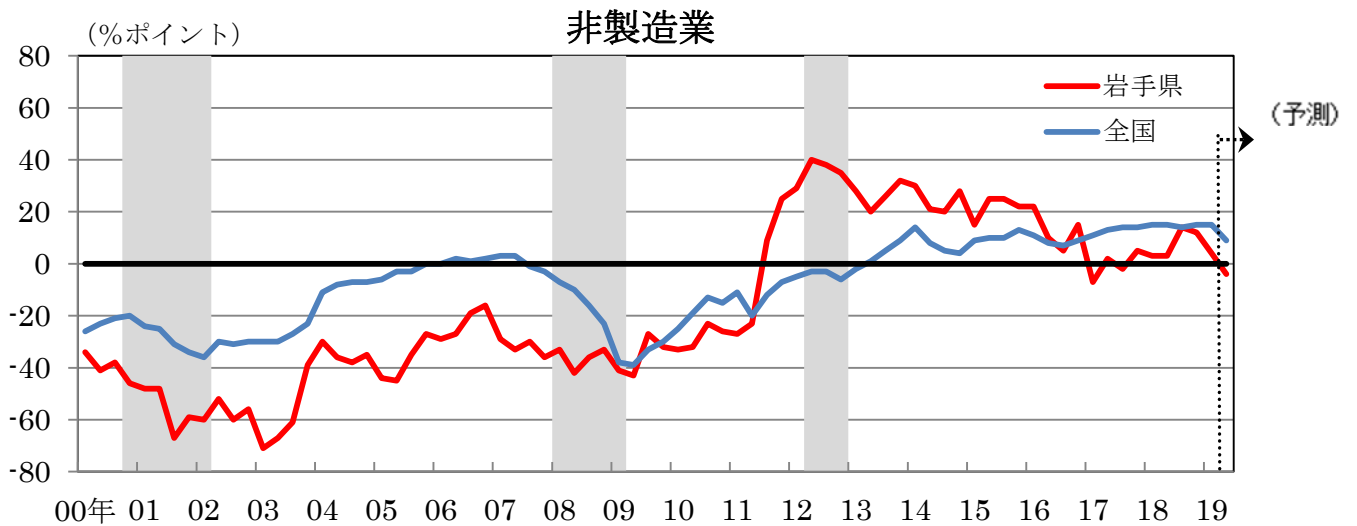
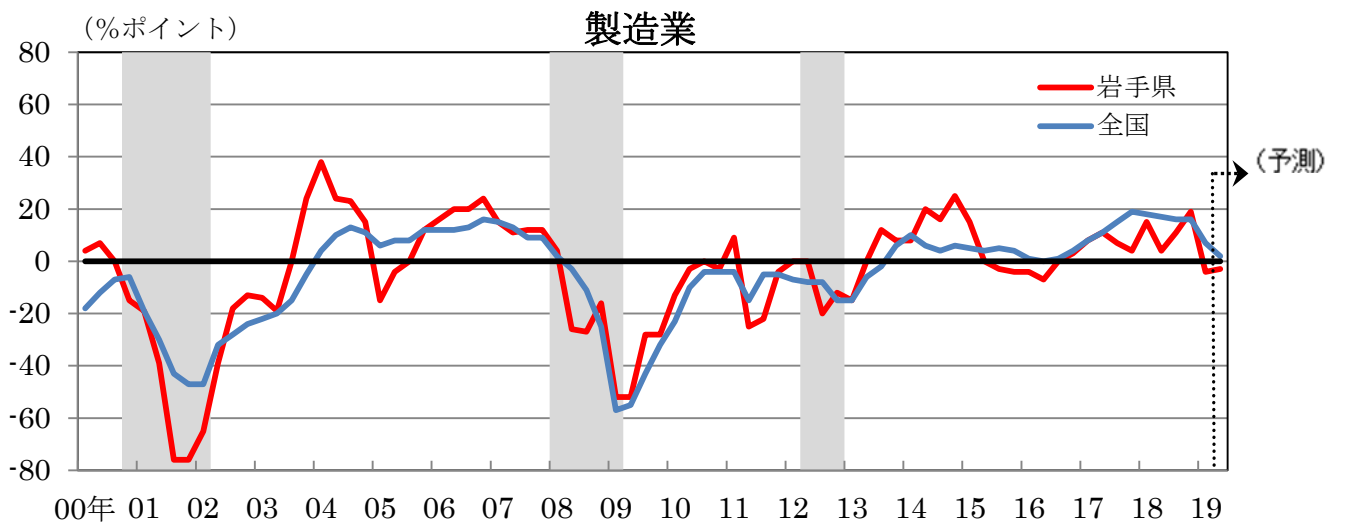
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」－「不足」)

	17/12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月	6月 (予測)
製 造 業	▲37	▲42	▲34	▲38	▲38	▲27(▲30)	▲23
非 製 造 業	▲35	▲50	▲52	▲50	▲46	▲43(▲49)	▲40
全 産 業	▲36	▲47	▲46	▲46	▲44	▲37(▲42)	▲34

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		17/12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月	6月 (予測)
資金繰り	「楽である」－「苦しい」	7	6	4	3	5	1(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」－「厳しい」	9	13	13	11	10	13(—)	—
借入金利 水準	「上昇」－「低下」	▲6	5	2	3	4	▲5(3)	8

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		17/12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月	6月 (予測)
製造業	全国	19	18	17	16	16	7 (11)	2
	東北	10	13	14	9	9	▲ 3 (7)	▲ 6
	岩手	4	15	4	11	19	▲ 4 (11)	▲ 3
非製造業	全国	14	15	15	14	15	15 (10)	9
	東北	11	8	8	7	6	10 (0)	1
	岩手	5	3	3	14	12	4 (▲ 7)	▲ 4
全産業	全国	16	17	16	15	16	12 (10)	7
	東北	10	9	10	9	7	5 (3)	▲ 2
	岩手	4	8	3	13	14	2 (0)	▲ 5

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		17/12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月	6月 (予測)
全産業	岩手	4	8	3	13	14	2 (0)	▲ 5
	青森	8	6	9	7	3	1 (0)	▲ 5
	宮城	11	10	10	4	0	6 (0)	▲ 1
	秋田	13	9	8	9	6	6 (7)	3
	山形	13	14	19	14	6	5 (3)	▲ 5
	福島	8	10	9	5	10	6 (4)	▲ 1

以 上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>